



新学期 本格始動！！

新年度がスタートして半月、子供たちの学校生活もいよいよ本格始動です。

4月9日は、入学式を行いました。今年は72名の新入生が入学してくれました。コロナ禍のため、保護者の方々等のご臨席での開催となりましたが、晴天にも恵まれ、元気でかわいい1年生の笑顔があふれるいい入学式になりました。

また、15日は授業参観・学級懇談会を行いました。換気やマスク着用、各家庭1名に限定しての参観、ZOOMによる役員等の紹介など、感染拡大防止を考慮しながらの実施でした。第4波のニュースも耳にしますが、できるだけ開催可能な早い時期に、子供たちの学習の様子をお家の方々に観て頂ければと実施しました。ご多用な中に、多くのご家庭の皆様にご出席頂きましてありがとうございました。

16日は、町の総合グラウンドへの歓迎遠足を実施しました。遠足は、約2年ぶりの開催、グラウンドで思いっきり走り回って遊ぶ子供たちを観て、改めて学校生活に潤いを与える行事の持つ意味を感じたことでした。



授業参観（2の2）



遠足に出かける1年と6年



総合Gで思いっきり遊ぶ児童

「かみましき 命と防災の日」

熊本地震から5年。「かみましき 命と防災の日」の14日、本校でもZOOMを使って心のケアや講話等を行いました。まずはじめに養護から心のケア（リラックスなど）として「ふわっとタイム」を行い、黙祷の後、校長より講話を行いました。講話では、「NHK FOR SCHOOL 学ぼう BOUSAI」を視聴し、その中に登場する地震当時本校の6年生だった2人の男の子の地震発生当時の思いやボランティア等の経験について考えました。また、校内にある防災倉庫や、マンホールトイレ等の熊本地震を教訓にした防災対策について説明しながら、日頃から「心の備え」を大事にしていこうと話しました。

その後、各クラスで講話についての感想の交流等を行いました。子供たちは自分なりに感じたことや考えたことを友達と交流することができていました。

地震当時入学したばかりの1年生だった今年の6年生の教室を見てみると、学習のまとめとして、担任の先生は、「町の施設や道路もどんどん復旧・復興してきています。それも大変うれしいことだけでも、地震当時1年生だった君たちが、中央小の立派な6年生として成長し卒業していくことも、これも一つの大きな復興と言えらと思います」と話されていました。辛い体験を乗り越えてきたそれぞれの子供たち、落ち着いて行動することや周りの人を思いやるやさしい心をこれからも大事にしてほしいと思います。